

財団発!

NEWS & TOPICS



速報

シンポジウムを開催しました!

- 21世紀職業財団は“多彩な力が活きる社会”の実現を目指して、今年度より定期的にシンポジウムを開催し、皆さまのお役に立つ情報を発信していく予定です。
- 初開催となった第1回シンポジウムは、『共働き・共育て実現社会へ』をテーマに8月26日オンラインにて実施し、約300名の方々にご参加いただきました。

21世紀職業財団は、「多彩な力が活きる社会」実現に向けて、お役に立つ情報を発信し社会に貢献してまいります。

21世紀職業財団第1回シンポジウム
共働き・共育て実現社会へ[→]
-経済産業省「Nextなでしこ 共働き・共育て支援企業」選定企業に聞く-

プログラム

■開会・主催者挨拶
定山由美子 21世紀職業財団会長

■イントロダクション
本道敦子 21世紀職業財団 上席主任・研究員
-光文社出版「<共働き・共育て>世代の本音-新しいキャリア観が社会を変える」より、デュアルキャリアカップルを目指す人たちの現状と課題

■パネルディスカッション
佐藤博樹氏 東京大学名誉教授
宮間三奈子氏 大日本印刷株式会社 常務取締役
中西康恵氏 野村ホールディングス株式会社 DEI推進室 室長
-デュアルキャリアカップルのライフキャリア実現-
-新にこっても働きやすい社会・職場をつくっていくために大切なこと-

新刊本のご紹介

本日イントロダクションで内容紹介

『共働き・共育て>を実現するシニア世代。特に子育てする男性の問題、女性の世界には、企業として当事者が抱えるべき対策を提進する実践の書。東京大学名誉教授 定山由美子著解説

コロナ禍での仕事と育児
育児と仕事の両立
出勤地図で育児もできる
夫婦の間で抱える人柄やハーフタイン問題など
企業の場合はリモートワークの意識が弱まる
活動する地域でつながりを自分の世界で育むために
その他の、企業・団体からの要請、執筆依頼多数。



◆イントロダクション

光文社新書「<共働き・共育て>世代の本音-新しいキャリア観が社会を変える」の著者の一人でDEI推進等の課題や展望を研究する調査等に携わる当財団の本道敦子が登壇。書籍の章立てに沿って「デュアルキャリアカップルを目指す人たちの現状と課題」について、調査結果を示しながら解説しました。

<イントロダクション>

本道 敦子 公益財団法人21世紀職業財団 上席主任・研究員

◆パネルディスカッション

東京大学名誉教授の佐藤博樹氏をコーディネーターにお迎えし、経済産業省「Nextなでしこ 共働き・共育て支援企業」選定企業2社のパネリストとともに、ライフとキャリア両立社会実現に向け取り組むべきこと等について初期キャリアの必要性や男性の育児参加、アンコンシャスバイアス等、様々な視点から意見を交わしました。



<コーディネーター>
佐藤 博樹氏
東京大学名誉教授



<パネリスト>
宮間 三奈子氏
大日本印刷株式会社
常務取締役



<パネリスト>
中西 康恵氏
野村ホールディングス
株式会社
DEI推進室 室長

詳細レポートは次号にて掲載予定です。



編集後記

妊娠体験スツ用い、父親が疑似体験できるようになってから嬉しいですが、先日、生理痛体験アドバイスを使って、男性が生理痛を体験する研修を導入する企業の記事を見ました。本誌特集記載のように、女性特有の健康課題による経済損失は年間約3.4兆円です。技術進歩により、生理だけでなく、更年期症状などの職場理解が進み、働きやすい職場環境の整備がより一層進むよと思いました。①

ダイバーシティ21

DIVERSITY21 vol.058

2024年9月25日発行

編集・発行

公益財団法人 21世紀職業財団

〒113-0033

東京都文京区本郷1-33-13 春日町ビル3階

<https://www.jiwe.or.jp>